

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 | | | | |
|--------------------|--------|--|-----|---------|--|--|
| 放課後等デイサービス おひさまルーム | | 令和8年3月30日 | | | | |
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | ボール遊びは人数が少なくなった時にしています。場所を分かれて過ごしたりしています。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、指導員の配置数は適切であるか。 | ○ | | 人員配置基準以上の職員を配置しています。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | △ | | 掲示物などで気をつける箇所などを分かりやすくしています。移動はできるだけ少なくして、配慮の必要な子どもには指導員が付くようにしています。 | バリアフリーではない場所がありますので、少しでも移動しやすい環境にしようと考えています。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 掃除を毎日し環境を整えています。本を読む場所などを決めゆったり過ごせるようにしています。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | 学習時間を考えながら個別の部屋や場所を使えるようにしています。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く指導員が参画しているか。 | ○ | | 毎日のミーティングや月一の定例会で共有しています。参加できなかった指導員にも必ず伝えるようにしています。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 定例会で話し合っています。保護者向け評価表をふまえて改善策を考え実行している。 | |
| | 8 | 指導員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 定例会やミーティングで意見を出し合い改善につなげています。日々話しやすい環境を作っています。 | 話を聞く時間がない時もあるので、聞ける体制を整えていきます。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | | 引き続き検討していきます。 |
| | 10 | 指導員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 積極的に参加し定例会で共有しています。 | 動画研修も受けていこうようにしていきたいです。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | 支援プログラムを定例会で話し合い毎月ホームページに載せています。 | |
| | 12 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | 個々の子どもに合った支援を保護者との面談で話し合い計画を立てています。子どもにも聞き取りをしています。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、子ども発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる指導員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 支援にかかわる指導員、管理責任者共に最善の計画を作成しています。支援会議を行い意見交換をしています。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が指導員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | ミーティングなどで共有しファイルに収めその都度確認できるようにしています。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | 支援記録を毎日記入し、ミーティングで話し合い情報共有しています。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | 本人の気持ちを確認した上で気持ちを汲み取り支援の内容を考えています。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|--|--|---|
| 適切な支援の提供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | チームで立案しその後指導員で共有しています。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 季節を考え固定化しないようにしているが、年末は決まったことを取り組んでいます。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | 個別・集団・小さなグループでの活動などいろいろ組み合わせています。 | |
| | 20 | 支援開始前には指導員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 開始前には皆でミーティングを行いその日の支援を話し合っています。 | |
| | 21 | 支援終了後には、指導員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | 終了後にもその日のでき事を振り返りより良い支援につながるようになっています。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | ファイルに毎日どんなことがあったかを記録しより良い支援につなげています。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 定期的にモニタリング、支援会議を行い、見直しをしています。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | ○ | | 週別に4つの基本活動を組み合わせています。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | 学習時間を提案したり自己選択できる機会を提供しています。 | その日の課題にどうしてもやりたくない場合、やらないと決めてもいいのか、わがままを聞くことになるのか悩むことがあります。 |
| | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | こどもの状況を把握している者が参加しています。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | 同じ法人内の子ども発達支援とは連携できています。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | コドモンを利用しています。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、子ども発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | 同じ法人内の子ども発達支援とは情報共有できています。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | | 提供できるようにしていますがあまり求められることはありません。 |
| | 31 | 地域の子ども発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | 発達支援センター主催の研修に参加しています。 | |
| | 32 | 放課後子どもクラブや子ども館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | 同じ法人内の他事業所で、当事業所の子どもや地域の子どもも参加できる場を設けています。 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | 子ども部会に参加しています。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | 送迎時に保護者に状況を伝えています。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | 保護者の情報交換や相談ができる会を今年度新たに設けました。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|---|--|
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | 契約時に全て丁寧に説明しています。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | 年に2回アセスメントを行なっています。子どもにも聞き取りをしています。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | しっかり説明をし、同意後署名をいただいています。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | いつでも相談を受け付けている事をお便り等で周知し、いつでも相談に応じる体制をとっています。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | 父母の会はありませんが、保護者の情報交換や相談ができる会を今年度新たに設けました。同じ法人内の他事業所で、当事業所の子どもや地域の子どもも参加できる場を設けています。 | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 保護者アンケートやご意見を受けた場合、迅速な対応を心がけています。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | 毎月1回通信を出しています。保護者への連絡は内容によりLINEを用いて即時発信も行っています。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 個人情報については十分な配慮をしています。契約時に名前、写真等承諾書をいただいています。 | |
| 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | | | |
| 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | 同じ法人内の他事業所で、当事業所の子どもや地域の子どもも参加できる場を設けています。ハロウィンでは地域の人々も参加できるようにしています。 | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、指導員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | ホール玄関に設置し常に見て頂けるようにしています。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 避難訓練を10月と3月に行なっています。災害伝言ダイヤルやSNSを利用した連絡法など訓練をしています。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | 保護者からの連絡をミーティングで共有しています。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | 保護者からの連絡をミーティングで共有しています。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | 毎月の定例会で確認しています。日々安全を確認しています。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | 通信で安全計画の報告をするようにしました。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | 情報共有し、常に安全への意識を高め、小さな出来事でもできる限り記入していく様になっています。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、指導員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 外部での研修にも積極的に参加し、常に意識を持っていますし、定例会で情報共有しています。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | | | |